

大阪府生物多様性地域戦略の中間見直しのポイント

2026年3月23日

大阪府環境農林部みどり推進室みどり企画課

重点取組項目の実施状況

取組方針1 生物多様性の理解と生物多様性に資する行動の促進

1-1-1 府民等の生物多様性配慮行動の促進

- 生物多様性くらしナビ「**まいのちosaka**」開設
- 普及啓発資料「**知ろう・伝えよう大阪の生物多様性**」の改訂及び動画作成
- 普及啓発イベント出展

1-1-2 「大阪生物多様性保全ネットワーク」や「おおさか生物多様性施設連絡会」等と連携した普及啓発

- おおさか環農水研生物多様性センターとフォーラム開催(保全ネットワーク)
- 天王寺動物園と協働でイベント開催(施設連絡会)

1-1-3 森・里・川・海における各種プログラムの提供

- 各部局において自然観察会などを実施

取組方針2 自然資本の持続可能な利用、維持・充実

2-1-1 森・里・川・海における保全・再生・創造

- 「三草山ゼフィルスの森」など里地里山等の貴重な自然環境の保全
- 堺第7-3区「**共生の森**」の森づくりや岬町「**多奈川ビオトープ**」での生態系保全活動

2-1-2 事業者等の生物多様性保全に資する取組の促進

- **おおさか生物多様性応援宣言**を創設
- **企業向けセミナー**を開催、EMIELD(株)と事業連携協定

2-3-2 特定外来生物の防除

- **大阪府外来生物アラートリスト**の作成
- **クビアカツヤカミキリ**の防除対策(フォーラム、啓発資料、捕獲イベント等)

取組方針3 生物多様性保全に資する仕組みづくりの推進

3-1-1 野生動植物のモニタリング体制の構築

- **大阪府いきもの資料館**を開設

3-1-2 レッドリストの改訂及び活用

- **レッドリストの改訂**に着手(R8暫定版、R9改訂版策定予定)

府の取組と課題への対応

取組方針1 生物多様性の理解と生物多様性に資する行動の促進

取組

- 「大阪生物多様性保全ネットワーク」や「おおさか生物多様性施設連絡会」等と連携した普及啓発
- Webサイト「まいのちosaka」を開設し、府民への情報発信を開始

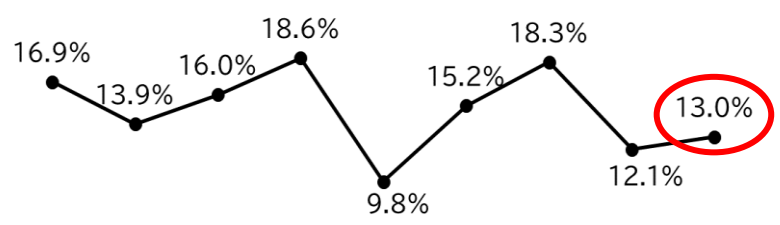
課題への対応

- 府民の理解・行動変容
⇒ 自然共生サイトを府民の気づきの場として活用
応援宣言企業に依頼し「まいのちosaka」を活用した情報発信の強化

- 市町村の地域戦略の策定状況
⇒ 策定済み・策定予定を併せて10%

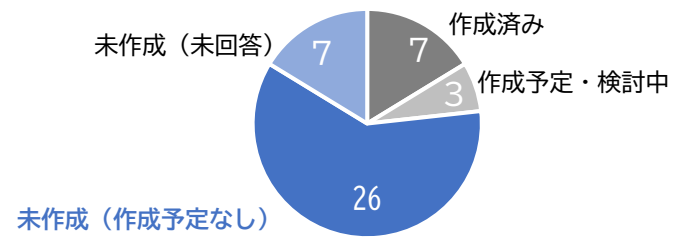
生物多様性施策の推進や地域戦略策定の働きかけを強化

自然環境に配慮した行動をする府民の割合の経年変化



2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 2023年 2024年 2025年

市町村生物多様性地域戦略の作成状況



うち4割が作成する必要性を感じていない

府の取組と課題への対応

取組方針2 自然資本の持続可能な利用、維持・充実

取組

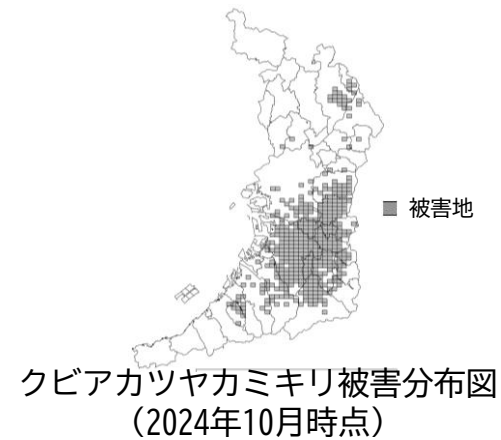
- (公財)大阪みどりのトラスト協会等と連携し、自然環境保全地域、緑地環境保全地域、和泉葛城山ブナ林及び団体活動地における保全活動
- 「おおさか生物多様性応援宣言」制度の設立や、事業者の取組支援に関する事業連携協定の締結等により、事業者の取組支援を強化
- 特定外来生物アラートリストの作成や、クビアカツヤカミキリ・アライグマ・アルゼンチンアリ等の防除推進

課題への対応

- 府域での30by30の取組推進
 - ⇒ 継続的に保全が図るための実態把握
 - 各保全活動地に適した活動支援の強化
 - 自然共生サイトの新規認定のための支援

※法令等に基づく地域指定の割合は現状維持 約25%
 うち、保安林等の国基準外の保護地域を除く地域指定 約14%

- 事業者の活動の促進
 - ⇒ ネイチャーポジティブ経済や NbS、ランドスケープアプローチの導入



法令等に基づく地域指定の割合		※国基準の保護地域とOECMの面積割合
2020年度	2025年度	13.96% (26,599ha)
24.6% (46,930ha)	24.6% (46,942ha)	

府の取組と課題への対応

取組方針3 生物多様性保全に資する仕組みづくりの推進

取組

- おおさか環農水研生物多様性センターを中心に、その他の研究機関（大学、博物館等）や保全団体等と連携し**野生動植物のモニタリング**を実施
- 府Webサイト「大阪府いきもの資料館」を立ち上げ、既存行政資料を中心に集約
- 大阪府レッドリストの改訂 ※ **2027年3月に暫定版リストを公表予定**
- **自然共生サイトの認定**に係る相談対応

課題への対応

- データの集約・共有化
⇒研究機関等の調査データを含む**データバンク体制の整備**
- レッドリストの活用
⇒ホットスポットの保全のあり方の検討等、**行政施策への活用**
- 自然共生サイトの支援
⇒新たな認定に向けた**計画作成等の支援**
地域生物多様性増進法の施行を踏まえた**既存活動の支援**

地域戦略の中間見直しのポイント

① 社会情勢の反映

[反映例]

- ネイチャーポジティブ
- 30by30
- 2025年大阪・関西万博 など

② 「2030年の実現すべき姿」を、社会情勢や施策の進行状況より見直し

[見直し例]

- 各取組方針に対する進捗状況の見える化
- 府民や事業者、市町村など各主体が取組むべき方向性や行動を追記
- 重点取組項目の計画内容の時点修正及び追加
- 各地の自然環境の保全が図られる地域に根差した取り組みを追加
など

上記のような視点で、中間見直しを検討